

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに
重点的取組 3 将来の産業拠点をつくる

担当課名	分権政策部 都市活力企画室		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
目	目	06	企画費

事業名	計画調査事業	事業開始年度	平成 26 年度
	新機能都市開発構想調査検討業務	根拠法令 条例 個別計画等	—

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、企業	新たな活力を創出し、都市の発展を牽引する拠点として、雇用の拡大や定住の促進に寄与する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市 (調査検討)	国、県、民間企業等	構想の具体化に向けて、開発の可能性について検証し、土地利用方針を決定する。

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

平成25年度決算・活動実績・事業費・情報・目標到達度

実施した事業の内容（活動実績）

新都市活力創出拠点である平良・佐方地区において、各種調査・検討を行い、開発可能性の検証を行った。

（検討内容）

- ・社会経済環境及び企業立地動向の検証
- ・本市の立地と区制の把握及びまちづくりにおける整合性・妥当性の検証
- ・開発条件の整理
- ・造成に伴う工事費等の積算及び分譲価格に係るシミュレーション
- ・実施判断のために考慮すべき要素の整理と現状の分析

（調査内容）

- ・企業の投資意向に係る調査
- ・本市への関心度の調査

・事業費関連

【歳出】

- ・新機能都市開発構想調査検討業務10,562,400 円
- ・新機能都市開発構想調査検討企業意向調査業務2,600,748 円
- ・事務費（旅費）311,690 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A		13,474,838		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）		13,474,838		
	人件費(按分) B	人	1.50 人 12,861,000		
	総事業費(A+B)		26,335,838		
単位換算	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
		市民1人当たり	225		
	②				

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	企業立地動向の把握			企業アンケート及び訪問等	企業アンケートの実施		
	進出企業の立地・誘導			土地利用方針の決定	開発可能性の検証	事業計画策定	